

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから



宮崎県拠点だより

事例紹介
ファイル #22

6月は食育月間!

第10回食育活動表彰
消費・安全局長賞

持続可能な農業に向かって!!

地元野菜で「食」を楽しむ力を こどもたちに実践!!

～宮崎大学地域資源創成学部食品科学研究室～



宮崎大学地域資源創成学部
食品科学研究室の山崎有美
先生(左)と学生の皆さん

かった。」「五感で感じて楽しいだけでなく、家庭にフィードバックできるように工夫した。」などの意見が聞かれ、研究としても、学生のこれからの人生においても有意義な体験であったことがうかがえます。



学生と保育園児が、一緒に苗植え体験
写真上:クイズ「この花は何の野菜でしょう?」
写真下:カラーピーマン苗の定植

宮崎大学地域資源創成学部の食品科学研究室は、「第10回食育活動表彰」で消費・安全局長賞を受賞しました。

こどもが苦手なピーマン（宮崎県の生産量は全国2位）や伝統野菜の佐土原なすを題材に、苗の定植・栽培・収穫・調理実食を一連で体験させることで、体に良い機能をもつ食品素材=農産物に触れる機会をつくり、「お野菜椅子取りゲーム」や、「ペープサート劇」を組み合わせ、こどもたちが楽しみながら生涯を通じた心身の健康を支える素地を育む食育活動を実践してきました。

五感を意識して食べることで、普段と違う感覚に気づくことを促し、単なる感覚体験に留まらず、活動に劇を導入することで、食べることの楽しさや意義、大切さをわかりやすく伝える工夫をしながら、家庭での食育実践も啓発しています。

また、アンケート、活動報告のおたよりやレシピなどを家庭に配布し、実食の機会を増やすことにも繋げています。

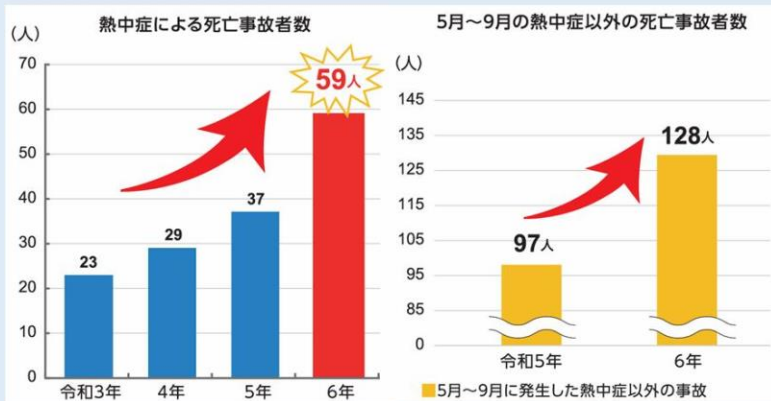
活動に参加している学生からは、「こどもたちが積極的に興味を示してくれて大変嬉し

このような活動を12年間継続していることが、今回の食育活動表彰の受賞に繋がり、「第2回みどり戦略学生チャレンジ」の九州ブロック大会においても九州農政局特別賞を受賞しています。

学生の入れ替わる研究室では、先輩たちの作ったプログラムや教材を更にバージョンアップさせて、今後も、食の大切さと魅力を、次世代を担うこどもたちに伝える取組を一層深化、継続していきます。

夏季の農作業中の死亡事故が急増しています！正しい安全知識を学び、暑さから命を守りましょう！

- 近年、農作業中の熱中症等による死亡者が増加しています。
- 令和6年の5月～9月は、熱中症以外にも高所からの転落や草刈り作業中等の事故が増加しています。夏場の高温による疲れなどが、事故の発生に影響しています。



農林水産省HP
農作業安全対策

拠点のうごき

宮崎大学で「みどり戦略」の出前講義を行いました。



4月17日、将来を担う若い世代（宮崎大学工学部機械知能プログラム1年生及び工学研究科：81名）に対し、みどりの食料システム戦略、みどり戦略学生チャレンジ及びスマート農業を説明しました。

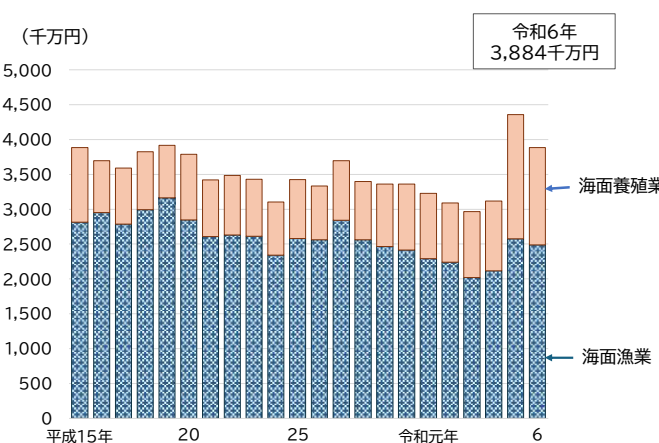
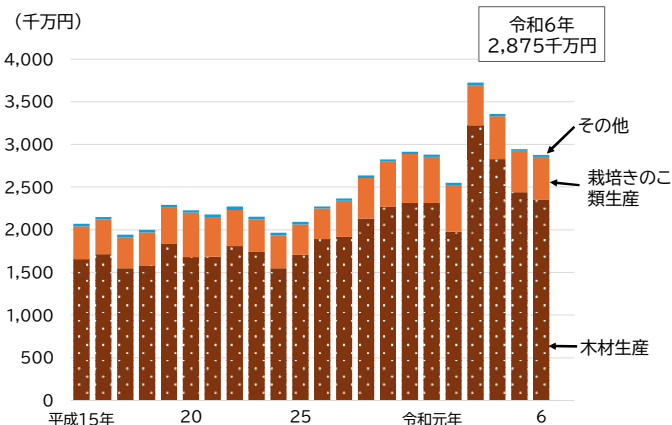
参加された学生のほとんどから、講義内容を十分理解できたとの感想を得るとともに、一部の学生からは「工学部なのでスマート農業に貢献できるような機械を開発したい」、「学生チャレンジに取り組んでみたい」等の声が聞かれました。

一瞥で見る宮崎の 林業・漁業産出額 !!

- 令和6年における宮崎県の林業産出額は287億5千万円（全国4位）で、そのうち木材生産は235億円（全国2位）、栽培きのこと類生産は50億5千万円（全国9位）です。木材生産は、すぎの生産額が208億3千万円と木材全体の約9割を占めています。
- また、宮崎県の漁業産出額は388億4千万円で、そのうち海面漁業は248億8千万円、海面養殖業は139億6千万円です。海面漁業はまぐろ類が約4割、海面養殖業はぶり類が約9割を占めています。

林業産出額の推移（宮崎）

漁業産出額の推移（宮崎）



資料：農林水産省「林業産出額」「漁業産出額」

●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985 - 24 - 2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

6月は大雨や豪雨、猛暑もあり、農作業には厳しさが重なる時期です。こまめな休憩と水分補給（ビールではなく、カリウム、マグネシウム、リン、亜鉛などのミネラルたっぷりの麦茶など）を心がけ、圃場のぬかるみによる転倒・機械作業中の農作業事故にも十分注意し、安全第一で作業を進めてください。みなさまの健康と豊かな収穫を願っています。（S）